

## 化学工学会 第50回秋季大会

部会横断型シンポジウム<電池・エネルギー変換・貯蔵技術の新展開ーナノからマクロ、  
材料からシステムまでー(ポスター発表部門)> 報告書

オーガナイザー

辻口 拓也(金沢大学)

中垣 隆雄(早稲田大学)

田巻 孝敬(東京工業大学)(文責)

石飛 宏和(群馬大学)

齊藤 丈靖(大阪府立大学)

中尾 公人(東洋エンジニアリング(株))

2018年9月18～20日に鹿児島大学で開催された化学工学会第50回秋季大会にて本シンポジウムが開催され、合計39件の講演発表が行われた。詳細は下記の通りである。

日時	9月18日14:40～17:40 39件
会場	鹿児島大学郡元キャンパス
聴講者数	不明

その他:本部会横断シンポジウムは、エネルギー部会、反応工学部会、材料・界面部会の共催として行われた。また、学生のポスター発表39件に対して、発表・研究内容・質疑応答に関して審査を行い、以下の4件の優秀ポスター賞を選定した。

- ・山崎 健輝(東京工業大学)「カーボンアロイ触媒を用いた酸-アルカリハイブリッド型燃料電池の発電特性評価」
- ・増岡 宏樹(九州大学)「LiB 電極構造設計のための充放電特性計測と数値計算による材料パラメーターの同定」
- ・松原 一起(東京大学)「三塔式ケミカルループ燃焼システムにおける Ca 改質型イルメナイト系酸素キャリアの水素生成反応の速度論解析と反応機構の検討」
- ・細田 万吉(東京工業大学)「固体酸化物燃料電池の燃料極へのカーボンナノチューブの直接合成法の検討」



優秀ポスター賞表彰式の写真

以上